

第14回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：平成30年7月25日（水）14:00～18:00

会場：東京都庁第一本庁舎33階南側A-1会議室

1 開会

2 議事

(1) 選手村内における飲食提供業務の委託候補者選定について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・場所ごとに分けて契約締結する方法もあると思うが、一事業者が一括で行う理由は何か。
⇒例えば、食材を効率的に利用する観点から、複数の事業者へ委託した場合に比べ、レストラン間で食材を融通するなどにより食品のロスを減らすことができる。また、物流の面から、複数の事業者が各々食材を調達するよりも効率的に運搬することができるので、コストを下げることにつながる。過去大会でも、選手村は一事業者で行っている。
- ・営業日数はどのように想定しているのか。
⇒基本的な考え方としては、オリンピック期間について、プレオープンを経営するオリンピックの開村日の6日前に設定しているため、オリンピックの開村日までで計36日。加えて、パラリンピック期間について、プレオープンを経営するパラリンピックの開村日の3日前に設定しているため、計26日間である。プレオープン期間中は、メインダイニングは開店しているが、カジュアルダイニングは準備中などそれぞれの状況を踏まえての想定日数である。ロンドン大会の実績も参考にしている。
- ・食事の提供数についてはどのように考えているのか。
⇒過去大会に比べて、少し増えるのではないかと予想はしているが、予算を踏まえて、まずは事業者にもロンドン大会の食数で提案してもらい、その後契約の中で調整していきたいと考えている。
- ・カジュアルダイニングで日本産の食材を積極的に使用することだが、有償での調達か。
⇒有償での調達を前提にしている。カジュアルダイニングは日本食文化

のショーケース的な位置づけもあり日本産の食材の宣伝になる。
メインダイニングでも日本食コーナーを作る可能性もある。

- ・産地名の表示はするのか。
⇒組織委員会内で確認中だが、ブランド名等の表示は難しくても、産地名として都道府県や市町村名などであれば可能ではないかと話をしているところ。
- ・食品残渣について、飲食戦略では有効活用することになっているが、その費用を含んでいるのか。
⇒今回の委託には含んでいない。サステナビリティや清掃・廃棄物の担当者と調整中である。

(2) 開会式及び閉会式制作等業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料4の「3 契約内容」に、「運営ボランティア等の手配」とあるが、大会全体のボランティアのことか、開閉会式に係る運営ボランティアのことか。
⇒開閉会式などの式典に関わるボランティアである。
- ・パラリンピック経費の確認についてはどのように考えているのか。
⇒パラリンピック経費についてはもう少し議論させて欲しい。

(3) 関係者の入場管理について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・生体認証にもいくつか種類がある中で、顔認証を選択した理由は何か。
⇒関係者については、アクセディテーションカードを申請する際に、顔写真を付けて申請してもらうことになっている。静脈や指紋認証の場合は、別途提出してもらう手間が生じる。また、現在は入国管理でも、パスポートの写真で顔認証ができる仕組みとなっている。
- ・過去大会の事例を教えてほしい。
⇒2012年のロンドン大会では、バーコードと目視。目視をするのはボ

ランティアで、バーコードを読み込んでパソコンに本人の顔写真を映して確認した。2014年のソチ大会では、RF タグを入れてカードが本物かどうかの確認をしていた。2016年のリオ大会では、ロンドン大会と同じバーコードと目視に戻っている。2018年平昌大会では、アクセディテーションカードの中にICチップを入れてチケットが本物かどうかの確認とICチップ内の情報を映像機器に映して目視をしていた。顔認証を実施するのは、今大会が初めてになる。

- ・関係するパートナー企業はどこか。
⇒顔認証については、生体認証のカテゴリーを持っている NEC にお願いする。ATOS には、アクセディテーションカードとの連携、全体のアクセスコントロールの管理、システム全体のコーディネーションをお願いする。
- ・「V2 予算の範囲内」とあるが、増減のあった項目はあるか。
⇒V2 作成時と比較して、ソフトの運営・開発や保守の費用が必要になったため、発注額が増加している。一方、ICチップの種類が決まっておらず高めのもので見積もっていたため、その後の検討の結果 ICチップが決まり、減額している。加えて ATOS との交渉の結果システム価格を縮減できたため V2 予算内に収まった。
- ・個別案件確認表の納得性の部分の記載について、調整の内容を具体的に教えてほしい。
⇒組織委員会から要求仕様書案を提出し、それに対して ATOS から提案書と見積書を提出してもらった。当初の案から必要な仕様を精査し不要なものを削ることで、今回の提案書と見積書になっている。

(4) 映像管理について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・録画装置は常に録画するのか。
⇒録画期間をどのように設定するかによる。録画時間が長ければディスクの容量が必要になるため、予算とのバランスである。
- ・契約の相手方はどこになるのか。
⇒パナソニックである。
- ・リースか買取か。
⇒一部のセンサー以外、基本的には買取である。リースと比較して、買取の方が安い。取付工事も含まれる。

(5) スクリーニング資機材について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・車椅子や義足など身体に金属を装着している人が金属探知機を通る際、何か配慮はあるのか。
⇒普通のレーンよりも幅の広いアクセシビリティレーンを作ることで対応する。
- ・日本国内で過去に例のない大量の調達とのことだが、この量を発注するにあたり事業者の見込みは立てられるのか。
⇒海外では一般的に流通している。事業者がメーカーと直接リース契約を締結することを想定しているので、供給台数は問題ないと考えている。
- ・輸入する場合関税がかかることになるが、その分高くないか。
⇒国内メーカーもあるが、一般的には関税分も含めて海外メーカーの方が安価。

(6) 警備 JV 基本契約について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・この契約は支出を伴うのか。
⇒この契約自体では支出は生じない。この後、個別契約の段階になると支出を伴うものがある。
- ・直接的には支出を伴わないということであるが、今回東京都作業部会で確認する意図はなにか。
⇒作業部会の後、組織委員会の理事会に付議することになるが、そこで単価等について決まる。その前に了承をいただきたい。
- ・今回の基本契約により費用の負担などは生じるのか。
⇒今回の基本契約では支払は生じないが、基本契約に基づいて締結する会場毎の契約で支出が発生する。今回確認したことが次の契約に繋がってくるということ。

- (7) 仮設オーバーレイ実施設計・施工等発注（第3回）について
- (8) 選手村メインダイニング実施設計・施工等発注について
- (9) 選手村チームプロセッシングセンター等整備工事発注について
- (10) 選手村宿泊棟エアコンリース発注について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・設備改修工事について、どの範囲から改修を検討しているのか。
⇒調査結果を踏まえて現時点では改修の予定はないが、劣化の状況などによって変更の可能性は否定できない。
- ・耐震補強についてどのように考えているか。
⇒耐震診断の結果を踏まえて、必要な対策を行っていく。

3 意見交換
特になし

4 閉会